

科 目 名
歴史学と課題Ⅰ HistoryⅠ

2年 前期 2単位 選択

西村正顯

【科目区分】

学士課程共通の学習効果との対応：2-(1), 3-(5)

情報教育目標との対応：

建築学科教育カリキュラムとの対応：

学習・教育目標	JABEE基準1の(1)の知識・能力	コース名	必修／選択の別	授業時間
A	A1	建築総合コース	選択	22.5時間
		建築計画コース		
		建築構造コース		

【概要】

本講では、日本の古代・中世の歴史を東洋のそれと関連付けながら、歴史は良くも悪くも「人が作っていくもの」であることを、それぞれの時代の人物を取り上げながら検証してみたい。

【到達度目標】

- (1) 古代・中世の歴史を連続性のあるものとして理解する。
- (2) 日本人は、外来文化をどのように咀嚼し、独自の文化へと昇華させていったかを理解する。

【授業計画】

テーマ	内 容
① 弥生時代と邪馬台国・卑弥呼について	弥生時代とはどのような時代か、邪馬台国や卑弥呼についても考える。
② 古墳文化	古墳の形状や副葬品の変遷などを検証する。
③ 聖徳太子と飛鳥文化	隋が中国を統一し、東アジアが激動の時代に入らる中で、聖徳太子が目指した事について考える。
④ 大化の改新の背景について	歴史を変えた「大化の改新」に絡む人間関係等に視点を合わせる。
⑤ 律令国家体制の確立	天武・持統天皇の政治について考える。
⑥ 聖武天皇の政治と天平文化	聖武天皇の治世とその文化、さらには藤原氏の政界における地位の確立過程を考える。
⑦ 桓武天皇の政治	政治の刷新を図った桓武天皇の政策を軸に、平安初期の政治と文化を考察する。
⑧ 藤原北家の台頭から政権掌握へ	藤原氏について考える。
⑨ 国風文化	遣唐使等によって移入された文化が咀嚼され日本独自の文化へと発展する過程を考察する。
⑩ 延喜の治と菅原道真	宇多天皇・醍醐天皇の改革と菅原道真について考える。
⑪ 承平天慶の乱	地方政治の乱れの中から生まれた武士が中央貴族を驚愕させた初めての事件を考察する。
⑫ 院政と平氏政権	院政下で勢力を拡張し、ついに政権を掌握した平氏について考察する。
⑬ 鎌倉幕府と北条氏	源氏は3代で絶え、北条氏が執権として権力を掌握していく過程について考察する。
⑭ 元寇と鎌倉幕府	元寇に至る大陸の事情と、執権北条時宗の防衛対策について考える。
⑮ 鎌倉新仏教	政治権力を掌握した武士や経済力を身につけた庶民を対象にした新仏教について考察する。学生自身による自己評価

【授業方法】

テキスト及び各時限に配布する資料をもとに講義を行う。

【学習到達度の評価】

毎時間、その授業についてレポートを書いてもらい、授業の理解度を把握する。

【評価方法】

- 1) 毎時間書いてもらったレポートで評価する。1時間分のレポート点数は7～8点満点とする。定期考査は行わない。
- 2) 全授業終了後に学生自身による自己評価を行う。

【教科書・教材】

テキスト「日本史のライブラリー」（とうほう）、配付資料ほか

【履修上の注意】

- 1) 歴史的事象について「何故？」という気持ちで、自ら授業に積極的に参加し考える。
- 2) 歴史は暗記ものではない。興味をもって流れをつかみ取ること。
- 3) 必ず教科書を購入すること。（この教科書は卒業後も役に立つものである）